

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第 1 回）
開 催 日 時	平成 2 7 年 5 月 1 2 日（火） 午前 1 0 時から正午まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎 2 階第 3 ・ 4 委員会室
出 席 者	金子 廣志 谷 眞弓 高橋 靖子 荒井 マサ子 石原 志穂 伊藤 進 土屋 賢治 萩原 宏枝 磯貝 幸子 山中 一英 森 聖 鈴木 義弘 渡辺 哲也 計 1 3 名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 谷口副課長、富樫主査、藤田主任、天倉主事
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 新委員の委嘱、任命及び紹介 4 議事 (1) 副委員長の決定について (2) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について (3) 新規開設校進捗状況について (4) 今後の予定について (5) その他 5 閉会
会 議 資 料	・ 次第資料 ・ 委員名簿
そ の 他 事 の 項	特になし

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会 (天倉主事)

2 挨拶 (金子委員長)

3 新委員の委嘱、任命及び紹介

新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱に基づき、教育長が新委員を委嘱及び任命した。欠席した新委員からは任命について事前に了解を得ている。

なお、任期は前任者の残任期間となり、平成28年3月31日までである。

委嘱状交付の後、新委員の紹介を行った。

4 議事

(1) 副委員長の決定について

小学校校長会から選出されていた前任の新座小学校長宮川みさ子氏が、定年により退職された。よって、現在副委員長が不在であるため決定をしたい。

慣例で小学校校長会選出の委員が就任しているため、陣屋小学校谷眞弓氏が就任することで決定した。

(2) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について

ア 資料1～6ページのとおり報告した。また、次のとおり説明を行った。

(資料1～3ページ)

- ・ 四小ココフレンドについては、登録児童数が昨年度より40人弱増加している。
- ・ 登録率で見ると、昨年度より少なくなっているココフレンドが多い。
- ・ 東野ココフレンドでは、新5年生が41名から8名に減っている。
- ・ 石神ココフレンドでは、新3年生が、76名から43名に、新4年生が、57名から33名に減っている。
- ・ 新堀ココフレンドでは、新6年生が、32名から13名に減っている。
- ・ 栗小ココフレンドは、4月22日(水)から24日(金)の期間で申込みを受け付けた。申込者数は、全校生徒402名のうち、155名であり、登録率は4割弱である。
- ・ 全体として、低学年の登録率が高学年よりも高くなる傾向があるが、これは、本事業開始当初から変わらない。

(資料4～5ページ)

- ・ 参加人数については、全体的に昨年度と同じ状況である。保護者会等がある際には増加傾向にある。
- ・ 既存校6校の1年生は5月7日(木)から開始したため、参加人数に含まれていない。

イ 各ココフレンドの運営状況を報告した。

(東野、東北、野寺ココフレンドについては、コーディネーターから、石神、新堀、四小ココフレンドについては、事務局から報告)

(東野ココフレンド 磯貝コーディネーターから)

- ・学校の教諭の人事異動が大幅に行われた。受付方法についても互いに良い方法にしようという事で、教頭と話し合っている。
- ・参加人数は、4月から日々40名程度参加している。先日保護者会の日には95名の参加があった。子どもたちは、騒がしい中でもきちんと宿題をこなしている。
- ・5月7日(木)から1年生が参加しているが、1年生のオリエンテーションを実施し、ココフレンドの参加の仕方や、ルール等も説明したため混乱なく過ごしている。2年生以上の上級生が、ココフレンドの過ごし方を1年生に説明している。

(東北ココフレンド 土屋コーディネーターから)

- ・1年生が先週から参加し、非常ににぎわっている。先日75名の参加者があった。スタッフルーム1室しかないためかなり厳しい状況である。最初の1時間については、学習することに決めており、机の数にも限りがあるので、体育館の床で学習している状況である。
- ・参加率の高い児童がリーダーシップを執れるようになってきており、異学年同士の交流が盛んになっている。
- ・昨年度から、月曜日に特別活動を行っているが、今年度についても実施する予定である。今年度最初は、百人一首について学習し、日本の文化に触れたいと思う。
- ・大人が、種々のイベントを企画し子ども達に参加させることが良いのか、子ども達の自主性を尊重した方が良いのか、悩んでいるところである。

(野寺ココフレンド 萩原コーディネーターから)

- ・先週、学校で会議があったため、下校時間が早く、多数の1年生の参加があった。1年生はまだ学校に慣れておらず、また初めてのココフレンドということであり、緊張した面持ちで過ごしていた。
- ・学校の理解もあり、スタッフルームの外に、特別教室を使用させていただいており、2教室で学習をしている。
- ・東野ココフレンド、東北ココフレンド同様、上級生が積極的に声かけをし、1年生の面倒を見ている。
- ・春休みに第五中学校の陸上部の生徒に協力をいただき、逃走中というイベントを行った。野寺ココフレンドの児童は99名の参加、放課後児童保育室の児童も20数名参加し100名を超える大盛況のイベントとなった。
- ・第五中学校の校長とも懇談し、地域の連携を大切にしていこうと一致している。

(石神ココフレンド 事務局から)

- ・春休み中は、午前中という事もあり、普段来ていない児童も参加していた。
- ・イベントをいくつか行ったが、いずれも大盛況であった。
- ・新学期が始まり、クラス替え等も行われたため、落ち着かない日もあった。落ち着いた雰囲気の中で1年生を迎えたいため、静かにする時間を設けたこともあった。
- ・5月7日から1年生が参加しているが、今年の1年生は大人しい児童が

多く、比較的落ち着いている。

- ・上級生が、遊びに誘ったり、1年生の面倒を見ている姿が見られた。

(新堀ココフレンド 事務局から)

- ・3年目に入り、ココフレンドの活動が保護者に周知されてきている。
- ・日々の参加者数については、昨年度と比べ大きな変化はなく、保護者がココフレンドを上手に利用している。

(四小ココフレンド 事務局から)

- ・4月は落ち着いた雰囲気の下、スタートした。
- ・日々の参加者数についても、昨年度と大きく変わることなく、皆慣れた様子である。
- ・今年度から登録した児童も周りの児童を良く見ており、戸惑う事無く行動している。
- ・5月7日から1年生が参加しているが、話を聞く時の姿勢も良く、慣れている上級生よりも良くできている。
- ・暑い日が多いので、スタッフにも無理をしないよう伝えている。

委 員 何度か実際の活動を見たが、児童が活動時間中に一生懸命プリントをやっていた。今年度教育委員会がホームページに掲載した問題集を使っていたが、きちんと用意してくれていることに感謝したい。しかし、子どもたちはすぐに終わってしまい、コーディネーターはその様な事態に対処することは大変だと感じた。何か学校として協力できることがあれば協力したい。

委員長 きちんと学校と連携していくことがココフレンドの運営では大切であると思う。今話があったが、今年度から教育委員会としても、ドリルの掲載をしているので活用いただきたい。現在は国語と算数だけであるが、いずれは、全教科掲載し、家庭においても勉強できる体制をとっていきたい。

外に困っていること等、何かあるか。

東北ココフレンドにおいて、1教室しかないため、大人数の参加があると大変だという報告があったが、外に教室はないのか。

委 員 図書室や学習ルームに誘導しているが、スタッフルームから距離が離れている。距離が離れているため、スタッフの目が届かなくなるので仕方なく、体育館の床で学習している。

委員長 その辺は、学校と調整を図っていただきたい。

1年生の開始日が5月7日という事であるが、もう少し早められないか。

事務局 入学してある程度学校に慣れるための日数も必要であることから、1か月程度の期間を置くため、5月上旬としている。

委員長 放課後児童保育室はどうか。

事務局 放課後児童保育室については、4月1日から通室している。

ココフレンドは、入学後に申込案内を配布し、その後申込みをいただいている。その後事務手続きを行う必要があるため、現在の開始日となっている。

委員長
事務局

放課後児童保育室は、早い段階で入室が確定しているが。

前回の運営委員会でも同じような意見が出ていたが、事務局としても、放課後児童保育室との乖離を埋められるよう、2月に行われる新入生説明会の時に、申込案内を配布できないか等検討をしたい。

(3) 新規開設校進捗状況について

(資料7～15ページのとおり説明を行った。)

・今年度から栗小ココフレンドの参加カードは、試験的に外のココフレンドとは変更になっている。変更点は、波線を付けている。変更点と経緯は以下のとおりである。

まず帰宅方法については、現在使用している参加カードでは③として、同じ方面ごとに帰るとなっているが、③をその他の方法に変更している。

また、※上段のところに③を選択した場合、中面の備考欄に帰宅方法を記入することとした。そして下段の※を付け加えた。変更点は以上である。

変更に至った経緯については、スタッフから、帰宅方法に「同じ方面ごとに帰る」という記述があると、原則がお迎えであるのに、迎えに来ることが出来ない事を容認しているように取れるという意見があった。これについては、利用のしやすさを重視し採用した選択肢であったが、確かに指摘を頂いたように理解できるし、それを通常の帰宅方法として選択すれば、毎回同じ方面の児童と帰宅するという事になるので、基本的に迎えには来ないという事になってしまう。

お迎えについては、地域差もあるが、どこのココフレンドについても少ないのが現状である。

また、「同じ方面ごとに帰る」では、参加している児童の中で、同じ方面の児童が少ない、または外に参加児童がいない場合、1人で帰るという事態も生じている。

そこで、児童の安全面を考えた結果、前述のとおり変更したものである。

その他、資料12ページ参加カード「お願い」の欄2段目のところで、「及び押印」のところに波線を付け加えた。

また13ページ、「お願い」の文章の一部として波線を追加した。

15ページについては、参加カード③を加えたことにより、波線を追加した。

以上の変更については、今年度試験的に栗小ココフレンドで実施するもので、来年度以降他校についても実施するか検討していく。

(4) 今後の予定について

資料16ページのとおり説明を行った。

(5) その他

特になし

6 閉会（谷副委員長）